

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 嶋津孝久  
幹事 野村紀代彦  
会報委員長 横山宜幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2783回例会プログラム

[当年度=17回目；当月=3週目]

2012年（平成24年）11月19日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱  
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/26) ……
- 新入会員アワー 鬼頭 一浩 会員  
〃 新海 伸二 会員  
(12/3) ……クラブフォーラム  
(ロータリー財団委員会)  
卓話 「ロータリー財団未来の夢計画について」  
講師 地区ロータリー財団資金推進委員会  
委員長 朱宮 新治 様  
(犬山 RC)  
(紹介者 伊藤 節夫 会員)
- 13:00 13. 本日のプログラム  
卓話 「カンボジアに魅せられて」  
講師 株式会社ジーアイシー  
社長 加藤 重和 様  
(紹介者 廣根 実 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散会

## ゲ ス ト

新入会員予定者 磯部 一智 様

## ビ ジ タ ー

知立 RC 近藤 一幸 様  
アルゼンチン マルコスバズ RC  
勢理客ビセンテ 様

## 出 席

会員総数 92名 出席免除 28名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 84名  
欠席 6名 出席率 92.86%  
前々回(11/5)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 11月13日に、地区内交流事業として、加藤英樹会員、神谷強会員と、犬山ロータリークラブにメイキャップしてきました。
- 2) 国際ロータリー日本事務局より、杉浦世志朗会員にベネファクターの認証品が届いております。



## 幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後、60周年実行委員会が開催されますので、ご関係の方は、特別会議室にお集り下さい。

## 「LCCの話」

嶋津 孝久



今日は格安航空会社の話です。普通LCCと言われて、マスコミでも取り上げられていますので、ご存じの方も多いでしょう。とは言っても、セントレアでは新千歳等へ飛ぶ「スカイマーク」と韓国の「チェジュ航空」しかありません。また、刈谷RCの会員にはサービスは物足りないので、今までに利用された方や今後利用される方は、多分皆無だと思いません。

さて、基本運賃の仕組みですが、「空席連動型運賃」と言われています。これは空席が多いほど安い価格が提示されるものです。なので、出発日が近づくにつれて高くなっていきます。もう1つは「カウントダウン運賃」で、「事前購入型割引運賃」とも言われるものです。これは、「何日前ならこの価格です」というシステムです。この場合当日購入だと、それなりの運賃になってしまいます。

次に、追加料金ですが、これが色々あります。旅客を運ぶ以外のサービスは全て有料と考えて下さい。

- ・予約手数料 例えばピーチの場合だと、ネット予約であれば無料ですが、電話予約では1,050円、空港カウンターでは2,100円かかります
- ・座席指定料
- ・優先搭乗手数料 機内に先に入る権利で、自由席の場合に有効
- ・受託手荷物料金 手荷物を預ける場合
- ・重量超過手荷物手数料
- ・機内食料金
- ・ドリンク料金
- ・エンターテインメント使用料 機内での映画鑑賞 等
- ・インターネット使用料

その他にもキャンセル料が割高であったり、返金ナシの場合もあります。ただ、インターネットで料金を見ていると、関西空港→長崎が990円とか、関西空港→沖縄で1,970円などが見つかります。機会があれば、LCCの低料金の仕組みについてもお話したいと思っております。

## 「カンボジアに魅せられて」

株式会社ジーアイシー

代表取締役社長 加藤 重和 様



当社は、今期で創業10周年となります。

初頭より、当社には、そこに集う社員全員に将来の夢と希望を与える事、国民の三大義務の1つである納税を偽りや滞り無く行う事、さらにそれに付け加えて世界規模での社会貢献を行う事と言う、大目標があります。

当社のカンボジアプロジェクトは、“カンボジアに当社単独事業で小学校を建設し、若き優秀なリーダーを輩出して同国の発展に寄与する事”を目的に、わずか6名の社員全員が、今後10年計画でそれに向かって、純粋な気持ちで取り組んでおります。

### (プロジェクトの概要)

1. 当社操業10周年に当たる今期、まず、カンボジアの農村地帯に、念願であった小学校建設を実現し、そこに、600人以上の現地の子供たちに教育の場を無償提供する。  
建設地は、カンボジア政府より提供された、コンポーンチャム州サンカップ村にあるサンカップ小学校敷地内とし、ここに鉄筋コンクリートの新校舎を建設、さらに廃屋化した木造校舎を解体、建て直して、同地区の子供たち全員に、最低限必要な教育環境を創造する。
2. 初年度の新校舎建設に続いて、翌年度より校舎の増設、図書館、職員室、運動場、貯水地、体育館など、子供たちの教育に有効、かつ必要な諸施設を建設して行く。(10年計画)
3. また、この学校には、同国初の「日本語教育カリキュラム」を組み込み、同国の子供たちの憧れである日本をよりいっそう身近なものにすると共に、将来的には両国の親善をよりいっそう深め、ここから優秀なリーダーを輩出する事によって、カンボジアの急速な発展に貢献する。
4. 日本語を教えるに当たり、首都プノンペンにある「王立プノンペン大学外国語学部日本語学科」の学生数名を継続的に送り込み、日本語以外にも、先端文化を注入する事により、カンボジアの抱える教育問題(都会と田舎の格差)改善に貢献する。
5. 首都プノンペンの銀行に“GIC基金”なる口座を持ち、毎年相当額の予算を投入、学校運営や日本語教育にかかる経費、備品・消耗品の調達資金などを賄いつつ、同国で最先端を行く子供教育施設としての充実を目指す。
6. 10年以内には、同地区内に中学校を隣設し、小学校を卒業した子供たちが、引き続きさらなる高度な教

育を受けるための場を提供する。

7. 出来るだけ早い時期に、日本国内において、“GIC 奨学金制度”を立ち上げ、現地で学んだ子供たちの中から数名を毎年日本に招き、日本独自の文化も伝えて行きたい。
8. 当プロジェクトは、一切のビジネス要素を含まず、純粋な気持ちで、恵まれない子供たちに、夢と希望を与える事にあります。
9. 「GIC 小学校」の開校は、2011年3月21日です。